

日光移動教室の感想

～6年生～

学校生活最高の思い出になった日光移動教室。東照宮の迫力のある建物と自然との融合は今までに見たこともないものでした。いろいろな歴史や言い伝えがある中で五重塔は歴史の重みや昔の人たちの思いが伝わってきました。特に印象に残ったのは鳴き龍です。天井に秘められた歴史を感じました。鳴き龍を見て思うことがありました。東照宮にある有名な建物は災害や老朽化などで修復されていました。しかし、歴史と伝統を守るために元通りの姿になっていました。僕は今の人も昔の人も歴史と守るという心構えは変わらないのだと思いました。移動教室で感じるものは伝えきれないほどありましたが、歴史の重みと伝統を一番感じました。(永谷 俊明)

私が一番心に残っているのは、ハイキングです。理由はとても空気が澄んでいて言葉に表せないほどきれいな自然の景色がとても印象に残っているからです。ここで、改めて自然の壮大さを感じました。国語で「森へ」という勉強をされていて、そこには、「老いて倒れた木が若い木に栄養を与えている。」とあり、ここでもおいて倒れている木が若い木に栄養を与えているのを見ました。自然の中ではわずかな栄養も貴重なのだと伝わってきました。私がハイキングで学んだことは、自然の大切さです。いつも植物や木は身近にあるけれど、今では地球温暖化などが問題になって、やはり地球温暖化を止めるには木や植物が必要なんじゃないかと思いました。私に何ができるかをこれからも考えていきたいです。(柳 律緒)

日光に行って、ぼくは学校ではできないことを体験することができました。一日目の日光東照宮大猷院は将軍をまつるにふさわしい豪華さだし、華嚴の滝は水しぶきと音が大迫力でした。2日目のハイキングでは、東京では味わえない自然を感じるすることができました。3日目はかみつけの里博物館に行き、社会科で学習した古墳の見学をすることができました。

日光で僕が一番学んだことは「人との関わりの大切さ」です。今回の移動教室ができたのは、スパビレッジカマヤの皆さんや、ネイチャーガイドの皆さん、日光彫りや勾玉作りの先生など、多くの人のおかげです。そうした人たちと関わることで、楽しく充実した2泊3日になりました。これからも人との関わりを大事にしようと思いました。(小林 藍流)

日光移動教室で一番心に残ったことは、最終日に行った、かみつけの里博物館の、古墳です。展示されていた「はにわ」がとてもかわいく作られていて、1500年も前の人たちもユーマウスだったのだなと思いました。そして、大昔の人たちのことを、とても身近に感じる事ができて良かったです。また、古墳のきれいな造りにおどろきました。石がきれいに並べられていて、左右対称のかぎ穴のようなきれいな形になっていました。今のようにクレーンやショベルカーなどが無い中で、昔の人はどのようにしてこの古墳をつくり上げたのか、疑問に思いました。今回の日光移動教室で貴重な体験ができたので、次の学習につなげていきたいです。(山本 陸太)

1日目

東照宮



2日目

男体山をバックに 学年写真



華厳の滝



3日目

湯ノ湖畔へ朝の散歩



日光彫り



かみつけの里

